

# 東京バッハ合唱団 月報

[ 第 504 号 ] 2004 年 6 月号

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 5-17-21-101 Tel : 03-3290-5731 Fax : 03-3290-5732  
E-mail : bachchortokyo@aol.com http : //www2.tky.3Web.ne.jp/~bach/chor/

BACH-CHOR, TOKYO  
Monthly Newsletter No.504  
June 2004

5-17-21-101 Funabashi,  
Setagaya-ku, Tokyo

## 今年(2004年)は BWV51 ~ 100 に集中

第 2 回 『私の好きなカンタータ』( BWV51 ~ 100 の中から ) を募集 !

2003 年 3 月号 ( 第 489 号 ) 月報に、「BWV 番号順に毎年 5 曲を精選 2003 ~ 2006 年の演奏計画」と題して、2003 年から 4 年間の定期演奏会を、「バッハ・カンタータ 50 曲選」の楽譜、CD シリーズ発行のスケジュールと連動させる、という計画を発表しました ( 以下 )

< BWV1 ~ 50 > より 5 曲

第 93 回 (2003.5) **BWV1, 26, 30, 47** ( + レット )

第 94 回 (2003.12) **BWV40** ( + クリスマス・オトリ後半 )

< BWV51 ~ 100 > より 5 曲

第 95 回 (2004.春) **BWV77, 78, 93, 99** ( + レット )

第 96 回 (2004.12) **BWV72** ( + クリスマス・オトリ前半 )

以上 10 曲は、「楽譜」第 4 期 (2003 年既刊) に収載、「CD」第 1 期 ~ 第 4 期 (2003 ~ 2005 年) に発行。

< BWV101 ~ 150 > より 5 曲

第 97 回 (2005.春) **BWV116, 129, 137, 147** ( + レット )

第 98 回 (2005.12) **BWV123** ( + クリスマス・オトリ後半 )

< BWV151 ~ 200 > より 5 曲

第 99 回 (2006.春) **BWV180, 187, 194, 197** ( + レット )

第 100 回 (2006.12) **BWV192** ( + クリスマス・オトリ前半 )

以上 10 曲は、「楽譜」第 5 期 (2004 年) に収載、「CD」第 5 期 (2005 年)、第 6 期 (2007 年) に発行。

2003 年 4 月号 ( 第 490 号 ) 月報に、「『私の好きなカンタータ』募集」と題して、BWV1 - 50 の中から選んで投票して下さるよう呼びかけました。

2003 年 9 月号 ( 第 495 号 ) 月報に、「カンタータ BWV1 - 50 よりベスト 10 の中間発表」と題して、団員のアンケート結果を紹介しました ( 右表 )

一般応募では、さすがにバッハ愛好の方々だけあって、BWV1 ~ 50 だけに絞るのに忍びないのか、全カンタータの中からたくさん挙げられる例が多く、また団員アンケートと重なるものが大半でした。

ただ、団員の場合は、過去・現在にわたって、実際に演奏したものを挙げる傾向があり、それが得票数 1 票として多彩な 11 曲を挙げていることに表れています。ここでは、BWV1 ~ 50 全 50 曲中の約半数、24 曲が対象となりました。

得票数	カンタータ番号 ( BWV )
15 票	BWV 1
14 票	BWV 8
9 票	BWV 6, BWV 39
8 票	BWV 21, BWV 30
7 票	BWV 4, BWV 47
6 票	BWV 12
5 票	BWV 36
4 票	BWV 26, BWV 45
2 票	BWV 23
1 票	BWV 7, 28, 29, 31, 34, 35, 37, 38, 40, 42, 46

BWV1 ~ 50 中、「カンタータ 50 曲選」に含まれるものは 17 曲で、団員アンケートの 24 曲中、「50 曲選」に含まれないのは、BWV7、12、23、28、31、34、35、37、38、46 の 10 曲。「50 曲選」中のカンタータで挙げられなかったのは、BWV16、19、41 の 3 曲。

もちろん、姿を現さなかった中にも、名曲はまだまだ残っていることは言うまでもありません。既演・未演に分けてそれらを列挙しますと、

既演 : BWV2, 3, 5, 9, 10, 11, 18, 22, 24, 50 の 10 曲。

未演 : BWV13, 14, ( 15 は偽作 ), 17, 20, 25, 27, 32, 33, 43, 44, 48, 49 の 12 曲。

今回は、この月報紙面で、第 2 回 『私の好きなカンタータ』( BWV51 ~ 100 の中から ) を、一般公募します。

この中で、「カンタータ 50 曲選」に含まれるのは次の 13 曲です : BWV56, 61, 63, 68, 71, **72, 76, 77, 78, 80, 84, 93, 99** ( 太字は本年演奏 )

この 13 曲をのぞく 37 曲のうち、

既演 : BWV51, 54, 59, 64, 65, 66, 67, 70, 75, 79, 82, 83, 86, 91, 100 ( 以上 15 曲 )

未演 : BWV52, ( 53 偽作 ), 55, 57, 58, 60, 62, 69, 73, 74, 81, 85, 87, 88, 89, 90, 92, 94, 95, 96, 97, 98 ( 以上 21 曲、偽作 1 曲 )

どちらにも、「50 曲選」に、涙をのんで外したような、代表的カンタータもたくさん残されています。皆様のアンケートで、ぜひそれらにも注目していただけますよう、期待しています。

## 春の話題

大村恵美子

(1)日本とドイツ、両シュッツ合唱団の「ヨハネ受難曲」演奏会

久しく淡野弓子さんのシュッツ合唱団の演奏会に伺う機会がもてないでいたところ、4月10日に、ハイルブロン・ハインリッヒ・シュッツ合唱団との合同で、バッハ「ヨハネ受難曲」を演奏されるというご招待をいただき、カザルスホールに出かけました。すっかり成長されて、ソプラノとバスの独唱を担われた淡野桃子さん(アメリカで活躍中)と太郎さん(ドイツでさらに研修中)指揮、エヴァンゲリストその他に淡野家の恩師方をお迎えしての、まことに画期的な顔合せでした。

私も、バッハに親しんだごく初期のころに、リヒターのミュンヘン・バッハ合唱団とともに、LPで聴きこんだのがハイルブロン・シュッツ合唱団で、ドイツ旅行中にも何度か、車であの小さな町を通ったりして、とても懐かしい存在でした。

「ヨハネ」に先立ってシュッツの「ダヴィデ詩篇 8」SWV27が淡野弓子さんの指揮で歌われ、その後M.ベッチャー氏指揮で、「ヨハネ」が休憩なしで、一気に演奏されました。2合唱団合同とあって重量感もあり、申し分のない演奏となりました。

1968年以來のシュッツ合唱団の長い歩みで淡野さんが蓄積された、内外の多くの演奏家たちとの交流の成果が、彼女のたくましい組織力によって、この一夜にまことにみごとに花開いたのは、壮観でした。心よりおめでとう、と申しあげます。今後ますます力強いご発展を続けられますように。

(2)鈴木順一氏の「マタイ受難曲」連続講座

4月9日から、隔週金曜日に5回連続で、文京学院大学の「マタイ受難曲」公開市民講座が始まりました。

かつて、私たちの合唱団として初めての「マタイ」の演奏(1982年)にあたっては、池袋西武デパートの「スタジオ 200」と提携して、充実した大規模な連続講座が実現されました(1981年6月~82年2月まで8回、85年3月に2回)。

2007年に予定されている、私たちの2回目の「マタイ」のためには、まず対訳テキストの学習を兼ねて、団員が鈴木順一氏著「バッハの『マタイ受難曲』を聞くときに」をそろえましたが、ちょうど今年の4月から、その鈴木講師による公開講座が、文京学院大学の生涯学習センターで開かれるということになり、私も受講いたしました。

音楽は、すべて大きなスクリーンに映し出されるビデオによるもので、演奏者の配置等、多くのことがわ

かりやすく、大いに参考になります。2時間もあつという間にたってしまうほどで、講師のお話も、音楽も、映像も、五感を同時に全開にする充実した内容は、学生時代のテンポのゆったりした授業とは隔世の感があります。初回から、残る4回の日々が待ち遠しくなります。

鈴木講師ご自身も、この春からまた大学院生となって神学の研究を始められたとのこと。ちょっと打ち明けておられた「学割」の愉快さもさることながら、いつまでも広がる学びの道は、一生、世の中を明るくしあわせにしてくれるものです。

戦乱つづきの愚劣さとは対照的に、私たちの桜の季節には、このような豊かな日々がつぎつぎに与えられたことに感謝しています。

## 北の国からのお客様

荒井せつ子(団員)

4月5日月曜日の練習に、世界的に高い評価を得ているスウェーデン放送合唱団団員のエステン・ウォール氏ご夫妻がお子さんを連れて見学にこられました。いかにも北欧の人らしく長身で、1歳半のお嬢さんはきれいな金髪。

ご夫妻はストックホルム・バッハ合唱団にも所属しておられ、教師の仕事と合唱と半々の生活をしておられるそうです。インターネットのホームページで東京バッハ合唱団を知り、コンタクトをとってこられたとのこと。日本にはすでに何回かいらっしやっているようですが、ちょうど桜の季節に来日できたことを大変喜んでおられました。

大村先生のお心遣いで急きょ用意された「さくら」と「花」の合唱でご一家を歓迎し、通常の練習に入りました。5月の定演の演目であるカンタータ77番、78番、次いで橋本さんの指揮でモテット4番とカンタータ93番、99番を、ご夫妻が参加できるように、はじめはドイツ語で、次に日本語でうたいました。ご主人はバスで歌い、ときにはビデオで撮影し、奥様のヘレナ夫人はアグネスちゃんを片手に抱いてソプラノで歌われました。モテットはドイツ語だけでしたが、ウォール氏が顔を紅潮させて真剣に歌っておられたのが印象的でした。

休憩時間には、団員の中でスウェーデン放送合唱団の演奏を聞いた方と歓談されたり、アグネスちゃんをあやしたり、なごやかな時間をもち、とくに練習場で団員がつくった折り紙の作品(鶴・奴さん・兜・風船・かえる・ピアノ・何種類もの花、等々)をみて、奥様は驚嘆しておられました。

この日はまた、月曜日担当のピアニスト石代佳子さんの5月からの後任となる田村由希子さんがご挨拶に



スウェーデン放送合唱団団員のウォールご夫妻とアグネスちゃん（17ヵ月）

こられたり、土曜日担当のピアニスト内山亜希さんも打ち合わせに来られたりと、にぎやかな夜でした。

最後にもう一度「さくら」と「花」を合唱してこの日の練習を終わりました。ご夫妻と連絡を取り合い、送迎もして下さった団員の片岡さんによると、ウォールさんご夫妻はとても楽しんで下さったとのこと。バッハを通して、このように外国の方との距離が一瞬にしてなくなり、思いがけない交流をもつことができるなんて、音楽の凄さを改めて感じたひとときでした。

## 第 95 回定演のチラシに感動

松尾茂春（団員）

いつも Bach Chor 定演のチラシの出来には脱帽していますが、今回のものはまた、なんとという感動的なチラシなのでしょう。

先日、練習場で見た瞬間に心奪われて、しばし見入ってしまいました。家に持ち帰ったのを見た文子も、素晴らしさに圧倒されていました。

演奏会チラシ・デザインコンテストのようなものがもしあれば、きっと入賞間違いなし……

[ 以前にもご紹介しましたが、最近 10 数年の定期演奏会チラシは、長谷川徹氏のデザインによるものです。そのほかにも、1992 年刊の「東京バッハ合唱団 三十年の歴史」に始まり、その 10 年後の「40 年の記録」、現在刊行中の CD 選集「日本語演奏によ

るバッハ・カンタータ 50 曲選」の装丁などにもご協力いただいています。

なお、チラシについては、毎回何らかの画像や写真をこちらから長谷川氏に提供します。演奏曲目の内容にふさわしく、かつマンネリ化した“バッハ図版”を避けて選択するとなるとかなりの苦勞ですが、その与えられた素材を、独特の色彩感覚とレイアウトの才で、しかも 2 色のみで加工し、われわれの意図を十二分に活かしてくださるのが長谷川氏です。

今後とも、演奏ともどもチラシのデザインもお楽しみに。]

## 「日本語演奏によるバッハ・カンタータ 50 曲選」 第 2 期（CD 全 4 巻）発行

小杉茂雄（後援会員）

今回は、小生の大好きな曲ばかりで、一気に拝聴させていただきました。とくに録音とミキサーが格段に向上したような感じで、感動いたしました。

なかでもカンタータ第 4 番は、小生の従来のイメージ（50 年前に聴いたアメリカのロバートショー合唱団の影響）を、完全に払拭してくれて、曲本来の格調の高さを充分に表現した、堂々たる演奏であったと存じます。しかも、20 年前の演奏ライブであることは感動の極みであります。

楽譜を見ながら、先生の名訳を一語一語咀嚼しつつ、じっくり聴きほれる醍醐味を満喫しております。

50 年以上も、カンタータを聴きつづけてきたはずなのに、今更ながら新しい発見がそのつど得られる喜びは、筆舌に尽くしがたいものです。

BACH-CHOR, TOKYO  
東京バッハ合唱団 第95回定期演奏会

野の花 空の鳥  
Johann Sebastian Bach, Kantaten zum Motette  
"Vogel unter dem Himmel, Liliën auf dem Feld"

2004年 5/9 (日) 午後4時開演  
Sun. 9. Mai 2004, 16 Uhr

石橋メモリアルホール  
ISHIBASHI MEMORIAL HALL, Utsunomiya

ソプラノ 光野孝子  
MITSUO Takeda, Soprano

アルト 佐々木まり子  
SASAKI Mariko, Alt

テノール 佐々木正利  
SASAKI Masahiro, Tenor

バス 宇佐美桂一  
USAKI Keiichi, Bass

管弦楽 東京カンタータ室内管弦楽団  
TOKYO CANTATA CHAMBER ORCHESTRA

オ rgel 草間美恵子  
KUSAMA Mitsuho, Organ

合唱 東京バッハ合唱団  
BACH-CHOR, TOKYO

指揮 大村恵美子 / 橋本眞行 (BWV 90)  
OHMURA Emiko, HASHIMOTO Masayuki, Leitung

入場料: 全席自由席 4,000円  
Event price: 4,000yen

前売り 問合せ: 東京バッハ合唱団事務局  
Information: BACH-CHOR, TOKYO  
Tel: 03-298-5731 Fax: 03-298-5732  
E-Mail: baicho@tokyo-bach.or.jp  
http://www2.tky3.web.ne.jp/~bachchor/

後援: ドイツ連邦共和国大使館  
Unterstützung: Thats hat die Bundesrepublik Deutschland in Japan

## 2004 年後半の活動スケジュール

### 創立 42 周年記念懇親会

6月26日(土) 18時30分より

会場：東條会館(半蔵門) 予定

年度末団員総会(15時30分~17時30分)の後。

詳細は後日ご案内いたします。

### 世田谷中央教会 夏の特別演奏会

7月31日(土) 18時 開演

(東急田園都市線「桜新町」駅下車, 入場無料)

ソプラノ：光野孝子

ピアノ：内山亜希

合唱：東京バツ八合唱団

指揮：橋本眞行(BWV93, BWV77)

大村恵美子(BWV78)

### カンタータ第93番《ただ 主に依りたのみ》

- 1) 合唱 ただ 主に依りたのみ
- 4) 二重唱 み神は知りたもう(SA合唱)
- 6) ソプラノ・アリア 主を仰ぎのぞみ>(独唱)
- 7) コラール 主に歌い 祈りて

### カンタータ第77番《主を愛すべし 心のかぎり》

- 1) 合唱 主を愛すべし 心のかぎり
- 3) ソプラノ・アリア 愛しまつる 心より(独唱)
- 6) コラール 主 わがうちにあり

### カンタータ第78番《イエス わが心を》

- 1) 合唱 イエス わが心を
- 2) 二重唱 急ぎゆかん(SA合唱)
- 4) アリア 罪をぬぐう なが血は(T斉唱)
- 6) アリア わが心をしずめ(B斉唱)
- 7) コラール 弱きわが心

### 野尻湖合宿と神山教会特別演奏会

合宿：8月5日(木)~8日(日)

演奏会：8月7日(土) 19時開演, 入場無料

合宿は、どなたでもご参加になれます。

今回はとくに、アルトの佐々木まり子先生を声楽トレーナーにお招きして、発声法の基礎から、バツ八音楽にふさわしい歌い方まで、みっちりご教授ねがうことになっています。

恒例の神山教会コンサートでは、佐々木先生に2曲のアルト独唱カンタータを歌っていただきます。

合唱団の主催するコンサートでは、これらの独唱カンタータが取り上げられる機会はほとんどありません。このたびは、佐々木先生より、今回の2曲(BWV35、BWV170)、および同じくアルト独唱カンタータ BWV169

の3曲について、大村恵美子への日本語訳詞のご依頼があったものです。貴重な機会となります。

アルト：佐々木まり子

ピアノ：内山亜希

合唱：東京バツ八合唱団

指揮：大村恵美子(BWV35, BWV170)

橋本眞行(BWV78)

### カンタータ第35番《心は乱れ 惑う》

アルト独唱カンタータ

- 2) アリア
- 3) レチタティーヴォ
- 4) アリア
- 6) レチタティーヴォ
- 7) アリア

### カンタータ第170番《うれしき 心の平和》

アルト独唱カンタータ

- 1) アリア
- 2) レチタティーヴォ
- 3) アリア
- 4) レチタティーヴォ
- 5) アリア

### カンタータ第78番《イエス わが心を》

(7/31に同じ)

### 力行祭コンサート(財団法人日本力行会主催) 予定

10月23日(土) 14時開演

会場：日本力行会国際館ホール

(西武池袋線「江古田」駅下車)

東京バツ八合唱団は、カンタータ第30番、第78番、《クリスマス・オラトリオ》等から約30分の合唱で出演予定です。

### 第96回定期演奏会

12月12日(日) 16時開演

石橋メモリアルホール

### カンタータ第72番《みなすべて 御心のままに》 クリスマス・オラトリオ 第1部, 第2部, 第3部

ソプラノ：光野孝子

アルト：佐々木まり子

テノール：平良栄一

バス：渡邊 明

オルガン：草間美也子

管弦楽：東京カンタータ室内管弦楽団

合唱：東京バツ八合唱団

指揮：大村恵美子(BWV72), 橋本眞行(クリスマス・オラトリオ)